

## MINIデータロガー



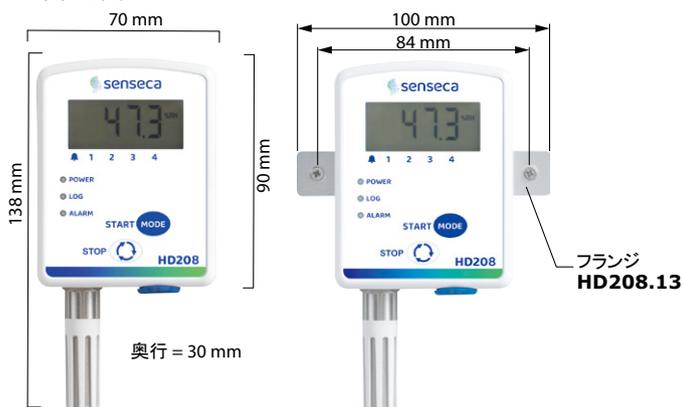
CE

### 主な特長:

- 温度または相対湿度・温度・露点のデータを記録
- 内蔵型センサ、本体固定型またはケーブル付分離型プローブ
- マニュアル(ディレイ時間設定可能)または、予めプログラムされた日時での自動ロギングスタート
- しきい値が設定可能な測定値アラーム
- USB出力
- PDFおよびCSV形式でログを自動発行
- 設定・モニタ・データダウンロード用のソフトウェアを付属
- FDA21CFR part11に適合したソフトウェアオプション
- LCDディスプレイおよびLEDで電源・データロギング・アラーム状態を表示
- 長寿命リチウムバッテリー
- 優れた耐環境性



### 外形寸法



## 温度・湿度・露点データロガー(FDA21CFR適合) **HD208**

- ▶ 大メモリ容量526,000データ  
(1要素、インターバル5分で5年超の長期記録が可能)
- ▶ 3種のプローブ(本体固定/内蔵/分離)で幅広い用途に対応
- ▶ ロギングスタート/ストップ、アラームしきい値の設定が可能
- ▶ 付属ソフトウェアによるデータダウンロード・管理
- ▶ ACCREDIA(IAJapan同等)校正証明も可能
- ▶ 取付け簡単な壁掛け式

データロガーHD208シリーズは、温度、相対湿度(RH)、露点のモニタに使用するコンパクトなデータロガーです。当データロガーシリーズは、測定要素やプローブの種類が異なる様々なモデルを取り揃え、幅広い用途に使用できます。すべてのモデルについて、LCDディスプレイあり/なしが選択可能です。

### モデル:

- 1CH:温度専用(モデルにより、内蔵型/本体固定型/ケーブル付分離型センサ)
- 1CH:相対湿度・温度用(本体固定型/ケーブル付分離型センサ)

### 用途:

- 食料・医薬品・植物など腐敗しやすい物品の輸送・保存時のモニタ
- 研究・実験
- 博物館・文書保管庫

データロギングは、前面のボタン操作により、マニュアルで開始/停止できるほか、ロギングを開始/停止する日時を予めプログラムすることも可能です。また、開始ディレイ機能により、スタートボタンを押した後、設定したディレイ時間で(ディレイ時間が経過した時点で)ロギングを開始できます。



ひとつの測定物理量に対して上限・下限のしきい値が設定でき、測定値が予め設定されたしきい値を超えた場合、アラームが発せられます。

当データロガーはデータロギング後、収集データのグラフを記載したPDF形式のレポートと、全測定値を記載したCSV形式のログを自動発行します。発行したPDFファイルは、専用のソフトウェアを使用することなく、USBポート経由でPCにコピーできます。当データロガーは、USBフラッシュドライブとして認識されます。

当データロガーの基本アプリケーションソフトウェアHD35AP-Sは、データロガーの設定、測定のリアルタイムモニタ、取得データのデータベースへの転送を可能にします。当ソフトウェアは、USBドライバのインストールなしでPCに接続できるため、すべてのバージョンのWindows® OSに適合します。

アプリケーションソフトウェアのオプションHD35AP-CFR21では、FDA21CFR part11の要求事項に応じて、取得データのセキュリティやデータロガー本体の設定を行うことができます。

内蔵3.6V塩化チオニルリチウム電池(Li-SOCl<sub>2</sub>、充電不可)により電源が供給されます。

センサは予め工場にて校正されており、ユーザーによる校正は不要です。必要な場合は、アプリケーションソフトウェアHD35AP-Sを使用し、新規校正を行います。

すべてのモデルは、事前見積りにより、ACCREDIAの校正証明を受けることができます。

